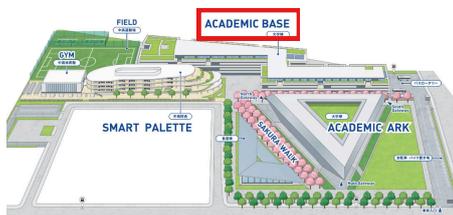


追手門学院大学
茨木総持寺キャンパスMAP



昨年も茨木総持寺キャンパスでの実施
でしたが、昨年とは建物が違いますので
ご注意ください。

2026年
3月7日(土)
追手門学院大学

茨木総持寺キャンパス
ACADEMIC BASE 2階

参加費
1,000円

対面開催

日本語教育に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

日本語教育学会
関西支部集会

口頭発表

9時30分～受付開始

10時15分～12時05分

発表辞退の方がいらっしゃるため、受付時間と開始時間が
30分遅くなりました。ご注意ください。

- 発表1) 中上級学習者における日本語アспект「テイタ」の習得と指導法に関する研究
紅露姫香(大原日本語学院) 中井延美(明海大学)
- 発表2) 当該発表は、発表者の都合により中止となりました。
- 発表3) 「何を・どう教えるか」を問う：戦後識字教育研究の現在地と課題
松下恵子(関西学院大学)
- 発表4) 日常の声がつながる共生社会 — 地域シンポジウムに見る市民の役割
中井延美(明海大学) 紅露姫香(大原日本語学院)

12時05分～13時10分 昼休憩
近隣に飲食店あり。昼休憩用の教室もあり。

ポスター発表

13時10分～14時40分

- 日本語会話力向上のためのタスクベースAIアプリ「Gengobot」の開発
— インドネシア人日本語学習者を対象に—
MUMU MUHAMMAD RIFAI (広島県立広島大学大学院生)
- 難易度別メール文タスクの設計とその課題 — 日本語教師による難易度判定から—
金蘭美(横浜国立大学) / 金庭久美子(目白大学) / 橋本直幸(福岡女子大学)

パネルセッション

14時50分～16時20分

16時20分～16時45分
閉会のごあいさつ

関西日本語学校における 多様な実践と課題



コミュニカ学院
内田さつき氏



大阪YMCA学院
惟任 将彦氏



KLA 大阪校
竹田 奈緒子氏

日本語学校には、国籍や背景、学習目的の異なる多様な学習者が在籍しており、それぞれの学校は自校の教育理念や学習者の特性に応じて、特色ある教育実践を行っています。本パネルでは、上記3名の先生方にご登壇いただき、各校の事例を通じて、学習者の多様なニーズに応じた教育設計の工夫をご紹介します。そのうえで実践から得られる示唆や課題についてディスカッションいたします。

参加申込
3月1日〆切

参加申込受付期間は、2月5日(木)～3月1日(日) 23:59です。
ご参加には事前登録が必要です。日本語教育学会HPのマイページからお願いします。
日本語教育学会の会員以外(一般)の方もお気軽にご参加ください。
初めての方は、日本語教育学会事前登録に先立ち、ユーザー登録をお願いします。

【問い合わせ先】公益社団法人 日本語教育学会支部活動委員会
TEL: 03-3262-4291 Email: shibu@nkg.or.jp



詳細ご確認はこちら